

山本茂貴氏が新たに委員に任命されました

平成23年1月に委員に就任した熊谷進委員が、平成29年1月をもって退任しました。その後任として、山本茂貴氏が、国会の同意を得て、1月7日、委員として、内閣総理大臣から任命されました。

新委員
紹介

やまもと しげき
山本茂貴 委員



昭和54年東京大学農学部畜産獣医学科卒業、昭和56年東京大学大学院農学系研究科獣医学専攻修士課程修了。昭和63年東京大学農学博士。平成14年4月より国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長、平成25年4月より東海大学海洋学部水産学科食品科学専攻教授。平成29年1月より食品安全委員会委員。

山本委員は、長年にわたり、国立医薬品食品衛生研究所や東海大学等で、研究・教育に従事し、厚生労働省薬事・食品衛生審議会委員や獣疫学会会長、日本食品微生物学会理事長等を歴任。食品安全委員会でもプリオン専門調査会の座長代理、リスクコミュニケーション専門調査会の専門委員を務めるなど、幅広く活躍してきました。微生物学の分野を中心に、リスク評価に携わる常勤の委員となります。

なお、熊谷前委員は、1月10日付けで食品安全委員会のシニアフェローとして委員長から委嘱されました。

ASAE(ポルトガル)主催のフォーラムへの参加及びASAE・ANSES(フランス)との意見交換

海外リスク評価機関との連携強化を図る一環として、佐藤委員長らがポルトガル経済食品安全庁(ASAE)及びフランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)を訪問しました。

2016年11月3日、リスボンで開催された第4回ポルトガル語圏諸国共同体(CPLP)経済食品安全関係機関フォーラムに佐藤委員長が参加し、日本の食品安全行政について講演を行いました。2015年9月に締結したポルトガル経済食品安全庁(ASAE)との協力覚書に基づき、また日本がCPLPのオブザーバー国となっていることから、講演を依頼されました。佐藤委員長から、日本の食品安全行政の体制や食品安全委員会の取組について、具体的な評価の例を交えながら



ANSESとの会合参加者(パリ)

紹介しました。

翌11月4日には、ASAEを訪問しました。会合では、リスクコミュニケーションやいわゆる「健康食品」について、両組織の行っている取組に関する情報と意見の交換を行いました。また、今後の両機関の連携について互いに確認し、2017年の連携計画について合意し、署名を行いました。

11月7日には、パリのフランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)を訪問

しました。ANSESとは2015年10月に協力文書を締結して以来、初めての会合でした。食品だけでなく環境・労働ばく露も含めたANSESの総合的なリスク評価の取組について紹介してもらうとともに、新たなリスク評価方法に関しても、熱心な情報及び意見の交換を行いました。

今後とも、このような機会を通じて各機関と情報及び意見の交換を行い、さらなる連携強化を図っていきます。



フォーラムで講演する佐藤委員長(リスボン)